

事務事業名		いわて農林水産振興協議会参画事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 農業経営の安定化					01	06	01	02	12
根拠法令											
所属	部課名	農林水産部 農林課			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成9 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入						
	係名	農政係	電話	0192-27-3111							
			内線	344							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・いわて農林水産振興協議会への負担金支出及び市長会の一員として協議会事業に参画する事業。 ・協議会は、県・市長会・町村会・農業関係34団体、林業関係28団体、水産関係21団体(19年度から農業関係33団体、林業関係26団体、水産関係19団体)で組織され、当市は市長会の一員として、協議会の事業に参画。 ・協議会では、農業・林業・水産業それぞれの団体が相互に連携し、一体となった取り組みを強化し、県農林水産業の発展を期することを目的に、県民に農林水産業の役割などについて理解醸成に努めている(イベント開催、いわて“めぐみ”フェア、作文コンクールなど) ひとづくり・むらづくりの推進(いわて農林水産躍進大会、リーダー養成研修会の開催等)に努めている。また、各地方(当市においては大船渡地方)協議会においては研修会等を実施している。 ・市は、協議会へ負担金を拠出するとともに、市長会の一員として協議会事業に参画している。 ・事業費は、協議会への負担金を拠出のみ。						全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・いわて農林水産振興協議会に負担金を拠出した。 ・いわて農林水産躍進大会へ参加 ・大船渡地方協議会(農政懇談会など)の活動へ参加		ア	協議会の主要活動(いわて農林水産躍進大会等)へ出席した市職員の数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	大船渡地方協議会の活動に参加した市職員の数
東日本大震災の影響により、負担金は免除。 各種活動についても、休止となった。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
いわて農林水産振興協議会		名称	
		単位	
		カ	協議会構成団体数
		キ	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
協議会事業が円滑に実施される。		名称	
		単位	
		サ	協議会の主要活動実施回数(地方協議会の活動を除く)
		シ	大船渡地方協議会の主要活動実施回数
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
農産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費	単位						
		千円						
投入量	事業費	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	38	32	32	22	22	22
	人件費	事業費計(A)	38	32	32	22	22	22
		正規職員従事人数	8	8	8	8	8	8
		延べ業務時間	50	50	50	50	50	50
		人件費計(B)	200	200	200	200	200	200
		トータルコスト(A)+(B)	238	232	232	222	222	222
活動指標	ア	人	2	2	2	2	2	2
		人	8	8	8	8	8	3
		人						
対象指標	カ	団体	86	86	81	81	81	81
成果指標	サ	回	8	8	8	8	8	8
		回	3	3	3	3	3	2

事務事業ID	499	事務事業名	いわて農林水産振興協議会参画事業
--------	-----	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・平成9年から「いわてめぐみフェア」として、農業、林業、水産業の各協議会が合同開催を行ってきた。平成14年からは、いわて農林水産振興協議会が設立し、その事業を引き継いでいる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・グリーンツーリズムの浸透により、農林水産業の役割などについて、更なる理解の醸成が県民に求められている。

・農業、林業、水産業とも従事者の減少、高齢化が進むとともに、海外からの輸入拡大により農水産物の価格低迷が続くなか、地場産物の普及拡大は必要不可欠であり、今後とも「いわてめぐみフェア」等、地場産物PRの場が必要な状況である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] ・協議会への参画を通し、県内及び市内農業の振興に寄与する事業であり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] ・協議会は、県、市長会、町村会、農業関係団体、林業関係団体、水産関係団体により組織されている。当市は市長会の一員として協議会へ参画しており、関与は妥当。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] ・市は市長会の一員として、協議会事業に関っており、負担金の納入や事業への参加により協議会の運営を支えている。このことから、対象は協議会に限定され、意図についても、協議会の運営を支えるということに限定される。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] ・引き続き協議会へ参画することが成果の維持につながる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] ・協議会は、県内の農業・林業・水産業それぞれの団体が相互に連携し、一体となった取り組みを強化し、県農林水産業の発展を期すために事業展開しており、事業への参画は必要。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ・他に類似事業はなく、統廃合できない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ・事業費は負担金のみ。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ・負担金納入事務にかかる担当職員の人件費及び協議会事業へ参加する職員の人件費のみ。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] ・受益者負担は発生しない

事務事業ID	499	事務事業名	いわて農林水産振興協議会参画事業
--------	-----	-------	------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・いわて農林水産躍進大会への参加等にとどまらず、協議会事業の活用を検討したい。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・引き続き事業を継続する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
--